

# 公会計実務を取り扱う会計人たちによる論文集

## 新地方公会計

～実務上の諸問題～

著：公会計改革に協力する会計人の会

新地方公会計制度による財務諸表の発表が始まってからおよそ2年。それは、120年もの間に渡り使われてきた「官庁会計」を大きく変革するものであった。この変革に協力する中で見えてきた会計実務上の諸問題。会計人たちが新制度を一層進化させるために、直面した問題点を明らかにした論文集。

著：公会計改革に協力する会計人の会

## 新地方 公会計 〈実務上の諸問題〉

「新地方公会計制度」開始から2年、  
実践の中で直面した問題点。

政府・自治体の会計に「発生主義・複式簿記」を根付かせることは、  
旧来の会計のレベルを一層引き上げると同時に、  
日本文化の進化に大きく貢献することでもある。

奥付書

### ●目次

公有財産台帳と固定資産台帳の違いについての考察  
事業用資産とインフラ資産の分類評価について  
公正価値評価について  
減価償却・直接資本減耗について  
道路の減価償却と耐用年数について  
売却可能資産について  
リース資産について  
公会計における債権の評価について  
注記事項及び附属明細表について  
資本的支出と修繕費

連結財務諸表の問題点  
出納整理期間について  
インフラ資産の底地の評価について  
土地と建物の権利関係が評価に与える調整について  
人口3万人未満の自治体財政の到達点  
公会計への取り組み  
地方公会計から学んだこと  
新地方公会計と財政の課題  
付録（「習志野市の財務報告書」抜粋）

ご注文は

**FAX:053-448-6269**

まで、本状をご送信ください

お買上タイトル		ご注文冊数
新地方公会計～実務上の諸問題～ ¥2,835(税込)		冊
お電話番号	FAX番号	メール
		@
お届け先ご住所		
〒		
御社名等(御請求先が法人名、屋号等の場合ご記入ください)		ご担当者名